

小規模事業者ICT導入促進支援事業の事後調査（アンケート）の結果報告について

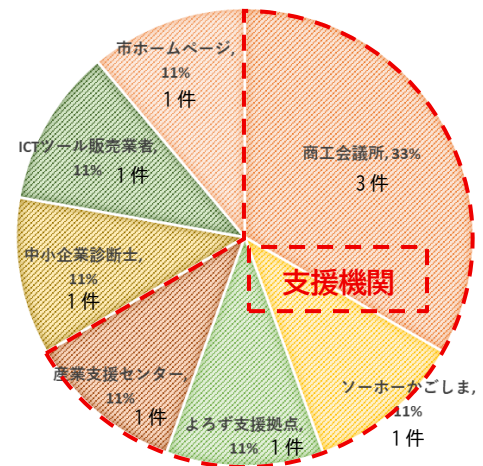
1. 調査概要

- ・実施時期 令和7年8月
- ・対象 令和6年度小規模事業者ICT導入促進支援事業補助金を活用した9事業者
(ステップ2申請事業者)
- ・調査手段 アンケート（メール）
- ・回答率 100%（9事業者／9事業者）

2. 調査結果

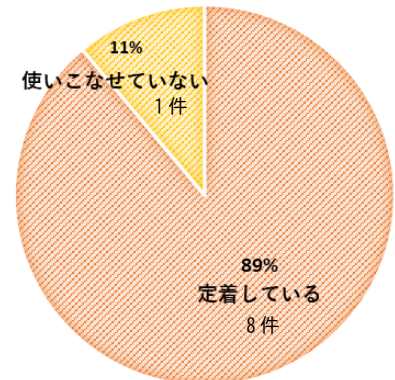
①本事業を知ったきっかけ

支援機関（商工会議所、ソーホーかごしま、よろず支援拠点など）からの紹介・案内等が67%（6事業者）と一番多かった。



②導入したICTツールが定着しているか

8事業者が「定着している」と回答し、1事業者が「使いこなせていない」と回答した。
(ICTツール導入前と導入後の業務効率の変化については③を参照)



③ICTツールを導入したことにより業務効率は変化したか（向上率）

※向上率 (%) = {①導入前 (人数×時間) - ②導入後 (人数×時間)} ÷ ① × 100

50%以上向上した事業者が全体の67%（6事業者）、1～49%向上した事業者が33%（3事業者）であった。

ICTツールを導入したことで100%の事業者が業務効率を上げたことがわかった

(参考)

【9事業者全体の平均向上率】47.7%

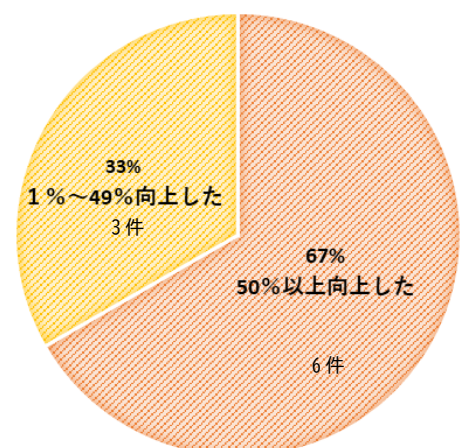
【9事業者全体の導入前後の時間数変化】△291時間
導入前：552（人・時間） 導入後：261（人・時間）

【向上率最高値】87.5%

導入前：1人×8時間＝8 導入後：1人×1時間＝1

【向上率最低値】20.0%

導入前：2人×20時間＝40 導入後：2人×16時間＝32



④具体的にどのように業務効率化したか（一部抜粋、加筆）

- ・PC とソフトの導入によりデータの管理、会計ソフト使用による会計作業の煩雑さがなくなった。また編集などの処理能力も上がり、作業の時間、内容の質が向上した。
- ・出先からパソコンにアクセスできるようになったので、部品検索、見積書作成、注文等がすぐできるようになった。
- ・請求書作成業務では、これまで表計算ソフトを用いて作成・入力を行っていたが、関数の消失や単価の削除などのミスが発生していないかを都度確認する必要があった。ICT ツールの導入により、こうした確認作業が大幅に削減された。
- ・販売管理ソフトを導入することで、案件管理、売上、利益が一元管理できるようになった。単純に入力のコストが 1/2 になり業務効率化になった。

⑤業務効率化により新たにできるようになったこと（一部抜粋）

- ・通常業務と並行して新しいプロジェクトに着手できるようになった。
- ・すぐに対応できることで、信頼して注文をもらえるようになった（機会損失の減少）
- ・管理が容易になったことにより施術時間が増えた。収支の流れがわかりやすいので、前月との比較、次月の対策等をねることができる。
- ・月初に 4 日かけて作成していた請求書が 2 日程で完了するようになり、他の作業への取り掛かりが短縮された

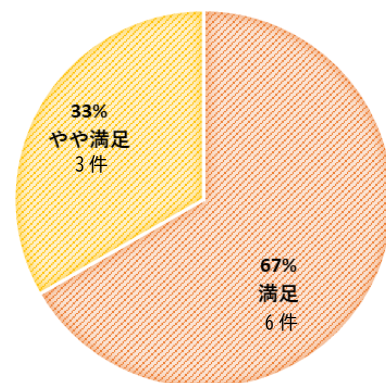
⑥今後、さらに ICT を活用した生産性向上に取り組む計画があるか ⑦その内容

全体の 67%（6 事業者）がある、33%（3 事業者）が今のところなしと回答した。

- ・社員全員がパソコンを 1 台ずつ所有し、使用できる環境にしたい
- ・今のソフトの機能（在庫管理・粗利率計算など）を使いこなすようにする
- ・BIM（Building Information Modering：建築物の 3D モデルを使った情報管理ソフト）の導入を検討している
- ・顧客との商談の履歴や行動管理などを AI で管理して自動化したい

⑧本事業の満足度

全体の 67%の事業者（6 事業者）は満足と回答し、
33%の事業者（3 事業者）からやや満足との回答であった。
全ての事業者が概ね満足していることがわかった。



⑨導入事例掲載の同意（省略）

⑩事業の意見・感想（一部抜粋、加筆）

- ・業務の効率化ができ、事業拡大につながっています。ありがとうございます。
- ・最も取り組みたかった販売ソフトの導入が実現し、導入直後に課題となった商品登録も、エキスパートの指導によりスムーズに開始できて大変助かりました。また、複数スタッフで作業を分担できるようになったことで、作業効率が向上しました。